

# 学校図書館だより

No.2 2025.5.12(月)  
小鹿野町立小鹿野中学校 図書室

## 「目には青葉山ほととぎす初鯉」

この句を詠んだ山口素堂(すどう)(1642(寛永19)年~1716(享保元)年)は、江戸時代の俳人です。松尾芭蕉とは同門で、親交があり、芭蕉とその門人によって確立された俳句の作風に貢献したといわれています。この句の「青葉・ほととぎす・初鯉」はいずれも夏の季語です。最初に「目には」とだけいってあとの「耳には」、「口には」を省略し、初夏を代表する風物三つを調子よくよみこんだことが、的確な表現を選ぶ才能があり快く、大いに人気を得ました。川柳にもこの句がよく取り上げられているそうです。

参考資料~レファレンス協同データベースレファレンス 事例詳細『山口素堂の句「目に青葉山ほととぎす初鯉」と「目には青葉山ほととぎす初鯉」とはどちらが正しいのですか。』~。

星の林に月の船  
声で楽しむ和歌・俳句



## こちらの俳句はこの本に載っています

『星の林に月の船 声で楽しむ和歌・俳句』大岡 信 編

何度も口ずさんで、五七調のリズムのよさ、ことばのひびきを楽しもう。時代をこえて脈々とうたいつがれてきた和歌や俳句。季節やくらしを題材にした美しい表現やユーモラスな感受性の宝庫から、194作を選びました。あなたのお気に入りの俳句はどれですか？

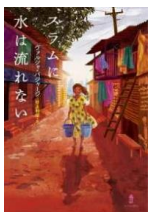
## ■今年度の課題図書を紹介します！



### わたしは食べるのが下手

天川 栄人【作】

会食恐怖症と摂食障害——。人と食事をするのが苦手な葵と、過食嘔吐を繰り返す咲子。ふたりの少女がたどった“わたしたち”なりの食との正しい付き合い方とは。わたしたちが望む給食って、いったいなんだろう？



### スラムに水は流れない

バジャージ、ヴァルシャ【著】/村上 利佳【訳】

人は、水なしでは生きていけない。でも、ほんとうに必要なのはそれだけじゃない。家族、友情、シスターフッド、大人になるということ…手に汗にぎる！青春ストーリー。



### 鳥居きみ子—家族とフィールドワークを進めた人類学者

竹内 紘子【著】

鳥居きみ子の夫は、「知の巨人」ともいわれ、明治から昭和時代にかけて活躍した人類学者、鳥居龍蔵です。彼の生涯や研究業績を紹介した本はたくさんありますが、きみ子のことはこれまで紹介されたことがほとんどありません。じつは、「家族とともに調査・研究する」という形で、女性の活躍が厳しい時代を生き抜いた先駆的な研究者なのです。人類学のなかでも、昔から伝わる生活・風習・伝説・歌などを調べる民族学を切り開きました。その生涯をはじめて伝える一冊です。